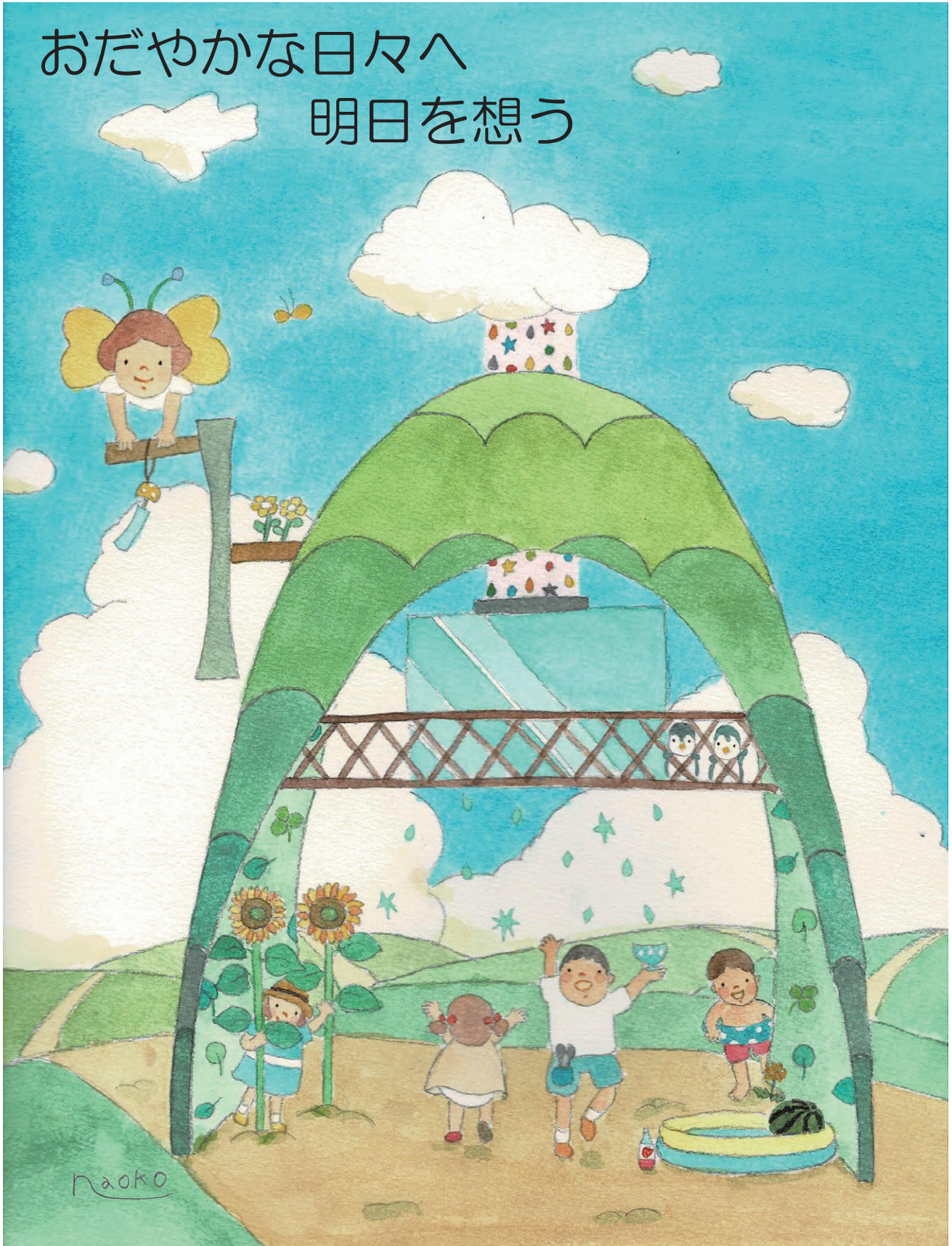


神戸いのちの電話

社会福祉法人 神戸いのちの電話

おだやかな日々へ
明日を想う



「かき氷やま」

画：いなばなおこ

現代社会と危機管理

神戸いのちの電話 研修委員
武庫川女子大 名誉教授

しらいし だいすけ
白石 大介

はじめに

近年、地球上で起こる様々な災害は、大規模化しています。災害には、大別して自然災害と人為災害とがあります。大規模化している自然災害の原因には、地球の温暖化が考えられます。年々台風（ハリケーンやサイクロンも含む）や豪雨、山火事などが猛威を奮っています。また人為災害にも、原発事故やテロを始め新しいウイルスによる感染症など、想定外の対応を迫られる事態に苦慮することが多いです。

こうしたことから、より危機管理が問われる時代になってきたと言えるでしょう。そこで、危機管理の基本について考えてみます。

1. 「最悪の事態」を想定

まず、何か大きな事態が起きたとします。日常的な事態ではなく、想定を超えたものであればあるほど、どういう事態が起きたのか把握することが難しくなります。想定内の事態であれば、多少余裕をもって対応できますが、想定外の事態であれば「最悪の事態」も視野に入れる必要が出てきます。ただ「最悪の事態」を想定することは容易ではありません。人は経験していないことを想定しても「事実は小説より奇なり」で、人間の想像を遥かに超えることが多いと言えます。

では、どうすれば「最悪の事態」を想定できるか。常日頃から「最悪の事態」を想定できるチームをつくっておくことです。「非常事態」が起きてからでは遅いのです。

「最悪の事態」を想定して「初動対応」に全力投入ができるようにします。「初動対応」の取り方によってその後の経過が大きく変わります。だから「初動対応」が重大な鍵を握り「初動対応」の基本になる「最悪の事態」を想定する力が重要になるのです。

2. 「優先順位」の適切な決定

「優先順位」にも色々ありますが、まずはいのちでしょう。いのちを最優先して守ることが最大のミッションになると考えます。次いで、いのちを守るには何が必要か？阪神・淡路大震災で学んだことはライフラインでした。震災の1月17日当日から二か月間ライフラインが遮断された生活になりました。その間、友人宅に一月お世話になりましたが、帰宅後の一月はライフラインのない生活を強いられました。そうした体験から、まずは「安心」「安全」ですが、ライフラインの中では一に水、二に火（ガス）、三に電気だと思えます。

今回の新型コロナウイルス感染症の防疫や検査など、感染をどのように防ぐか。対応するのに「優先順位」をどうすればいいのか、かなり厳しい議論があったものと推測できます。

3. 「権限」の集約

「権限」の集約をどうするのか。ということも重要な案件になります。「権限」の集約を図ることの意味には「指揮系統」の単純化ということも含まれます。「指揮系統」が複雑化すれば、どの「指揮」に従えば良いか混乱が生じかねません。そういう意味で「指揮系統」は単純明解であり、わかりやすいものでなければなりません。

この度の「コロナ」事件では「指揮系統」がどれだけ単純明解なものであったか。疑問が残ります。つまり、ダイヤモンドプリンセス号は3700人ものちょっとした村であり、船長は村長です。船内の「指揮系統」は船長にあったかも知れないです。横浜港に接岸した限りは日本の法律に基づいて対処していたと思われそうですが船長は米国の運営会社と連絡をとっていたようです。厚生労働省の職員も船内で対応し、自衛隊も任務についていました。更に、神奈川県はクルーズ船の患者の搬送に

追われ、横浜市はその受け入れ先の病院等を探すのに懸命でした。

このように国と地方自治体との連絡は十分なされておらず、「指揮系統」は単純ではっきりしたものではなかったと思われます。

4. 「情報集約・発信」の一元化

災害現場から色々な情報が飛び交います。中には誤解や誤信もあったり、デマも飛びます。事実とそうでないものを見分けるのは、時に難しいです。意図的なデマでなくても、ちょっとした誤解に左右されます。阪神・淡路大震災の折、誤情報に振り回されました。「あの林の向こうにある『甲南台』で火の手が上がっているから、金目のものを持って避難せよ」という号令が出て、最寄りの小学校に避難しました。今度は避難先の小学校の近所で火事騒ぎ。また避難して疲れ果てました。その内『甲南台』で火事という情報は『甲南大』の間違いということがわかり帰宅しました。

情報が錯綜する中、信頼性のある情報を基に行動をとることが求められます。

5. 適切な「リスク見積もり」と現場への説明

災害から避難する、災害を乗り越えるなど、まず自分の「安心」「安全」を確保するにはどうすればいいのか。

福島原発事故などは、とりあえず放射能から身を守らなければなりません。避難しても放射能というリスクと隣り合わせの生活をどうすればいいか。被災者に十分な情報と専門家からの説明が求められます。

大きな自然災害であれ、人為災害であれ人生を大きく左右しかねません。災害後はそれほど重いリスクを背負って生きなければならぬのはまったく過酷な人生になりかねないのです。

一回限りの人生を、できるだけ負担を軽減して新たな人生をどのように生きるか。国の危機管理は重要ですが、個人の危機管理も同じくらい大切だと思います。

おわりに

大きな災害に伴うブラックアウト（大停電）なども起きます。ブラックアウトは2018年に起きた北海道地震の折に初めて起こりました。ブラックアウトとは、単なる停電ではなく、発送電システムの全系崩壊を言います。だから復旧に時間がかかり、一電力会社の努力では限界があります。今後の課題として、電力会社間の電力の供給と備蓄などが問われます。

キーワードは「連携」「リスク分散」「平時からの訓練」などを大切にしたいものです。そして「危機管理システム」をつくっても緊急時にうまく作動しなければ意味がありません。

更に、東日本大震災の折に阪神・淡路大震災の教訓が十分生かせず、この度の「コロナ」事件にMARSやSARSなどの感染症が経験知とならなかったことも反省材料になります。「喉元過ぎれば熱さを忘れる」では経験知の積み重ねによる「知恵」の獲得につながりません。

相浦和生氏は、神戸いのちの電話の評議員、広報委員長として、私たちの活動を永く支えて頂きました。今年2月3日に永眠されました。親交の厚かった山口徹前理事長の追悼文を掲載いたします。

“神と人に仕えることの 修練に努めるということ”

神戸いのちの電話 顧問 やまぐち とおる
山口 徹

神戸いのちの電話の運営委員として長きに亘りご奉仕くださった敬愛する相浦和生氏のご召天なさいました。(2020.2.3 79歳)

先生とともに様々な奉仕活動に関わって参りました私にとってその時々大きな感化を与えてくださったことのすべては大きな感謝でした。

先生は、日本キリスト教団牧師として46年間、6教会にて絶えず指導的立場に立ってその業に献身的に励まれましたことをご承知の通りです。

時代や社会は絶えず変動し、何かと多種多様な課題が私たちに突き付けられますが、先生は、与えられた課題を全うするのは、その場の機会を与えられた者のいわば恵みであって、そのことに心から取り組むことが求められます、と力説されていました。

また、先生との交わりの中で先生からいただいた手紙は10通以上になり今も大事に手元に置かせていただいております。中でもガンとの闘病生活における抗ガン治療、副作用との闘いにて絶えず克服出来たらいいのにとの思い、そして、必ず毎回、再会できますようにとの願いを記してくださっていました。

治療が始まった初期の頃、「希望」って何でしょうと問う中で次の様に述べておられました。その語

彙は大辞苑によれば「あることの実現を望み願うこと、またその願い」「将来に対する期待、また、明るい見通し」ということになります。であれば、人は「希望」を持つが故に生きていけるということが言えます。逆に言えば「希望」がなければ生きていけないということになるのですが、それでは「希望がない」という場合の「希望」とは何なのでしょう。内容はそれぞれ広範です、と。この様に絶えず自分に問いながら先生は自らの基本的生き方は「祈りつつ聖書を読み、聖書を読みつつ祈り、信仰生活を送ることです」という生涯を貫かれました。

これらの姿勢は、神戸いのちの電話の委員としては勿論のこと、数多くのキリスト教主義学校の理事・評議員、日本キリスト教団・教区の常置委員・教育部委員、幼稚園・保育園園長、神戸YMCA専門学校講師、ワイズメンズクラブ(YMCAの奉仕クラブ)等々の役職において貫かれました。年末年始、神戸東遊園地において実施されるホームレスの方々へ炊き出しサービスのボランティアとして闘病中ながらも厳しい寒中に何度かご一緒したこともありました。常々「神と人に仕えることの修練に努めるということ」を大切に仰っておられたことをこれからも心してさらに歩んでいきたいと願っています。

お知らせ

新型コロナウイルスの影響で、2020年春の公開講座と第36期相談員養成講座が延期となっております。現在のところ、以下の日程で実施を計画しております。

2020年度 連続公開講座・第36期電話相談員養成講座

●連続公開講座(全4回) 10月1日～10月22日 毎週木曜日 18:30～20:30

●電話相談員養成講座 11月5日～翌年7月中 原則毎週木曜日 18:30～20:30

※詳しくは、案内チラシ、ホームページをご覧ください。

ご支援有難うございました

2019年10月から2020年3月までに、会費・寄附を頂いた皆様のお名前です。(敬称略・順不同)

《維持会費》

青山 暁 阿部 元則 上田 律子 小川 正 荻原 邦子 長内 靖子 金森 純子 郡 美恵子
笹部 康子 佐藤 久子 佐藤八重子 嶋崎 敬子 下村 義明 杉本 和俊 曾木 公子 高谷 晋介
竹崎 寿夫 竹森 勝彦 田中 享之 戸田 洋子 中山 幸平 新野幸次郎 橋本 和子 橋本 正晴
林 祐介 早野美智子 堀 笙子 松下 光子 水野 ミツ 宮本 和子 村野 利昭 山田 公子
吉池 新二 四方 陽子 和田 俊子 和田 孫博 いずみハートクリニック 泉 和秀

《賛助会費》

雀部 昌吾 医療法人尚生会 湊川病院 高石医院 高石 俊一
福本クリニック 福本 静代 松下メンタルクリニック 松下 寿能
医療法人社団随縁会ことしろクリニック 印部 亮助

《一般寄付》

相浦 恵子 上野 康子 太田 仁美 笥 雅典 梶原 稔子 片山 誠一 加茂 周治 木村 暉美
熊谷 郁子 黒田真知子 小西 武美 小山 和代 頃末美代子 佐久間初江 佐藤 久子 高木 潤子
辻井 陽子 長尾 文雄 中村 三郎 西村 尚美 橋本 絵里 橋本 一豊 橋本 裕美 橋本友利子
早野美智子 本城 智子 宮崎久美子 村野 利昭 森末 隆子 山崎 勝 和田 孫博 渡辺恵美子
日本キリスト教団神戸教会 日本キリスト教団神戸栄光教会 日本基督教団神戸聖愛教会
日本キリスト教団須磨教会 日本キリスト教団夙川東教会 日本キリスト教団神戸東部教会教会学校
日本基督教団宝塚教会 日本キリスト教団御影教会 日本キリスト教団法人主恩教会
神戸平安教会 カトリック鈴蘭台教会 カトリック夙川教会
甲子園二葉教会 在日大韓キリスト教神戸教会 日本イエス・キリスト教団御影福音教会
甲南教会壮年会 神戸聖愛教会女性会 グレイス神戸ミッションチャーチ
兵庫教区女性会神戸Aブロック委員会 日本キリスト教団鈴蘭台教会女性の会 日本キリスト教団伊丹教会女性会
たかみやこころのクリニック 高宮 静男 波多腰心療クリニック 波多腰正隆 京谷心療医院 京谷 泰明
青山学院女子短期大学同窓会 関西学院宗教活動委員会 学校法人松蔭女子学院
(社福)神戸聖隷福祉事業団 神戸ポートワイズメンズクラブ 公益財団法人神戸YWCA
武庫之荘幼稚園 垂水仏教会

※匿名希望の方、本法人の役員、研修委員、相談員の名前は掲載しておりません。また法人、団体等のお名前はお申し出のまま記載させて頂いております。お名前間違い、記載漏れがありましたら、法人事務局までお知らせください。

※次号から個人情報保護の観点に基づいて、支援者(会費・寄附)のお名前を掲載しないことと致しました。ご了承ください。



— 今日的な課題に向き合う —

社会福祉法人神戸真生塾

児童養護施設神戸真生塾 施設長

うえすぎ とおる
上杉 徹

私と神戸いのちの電話との出会いは31年前の4月のことでした。大学を卒業したての私が神戸YMCAに入職し、初任地となった部署が当時長田にありました西神戸YMCAでした。その会館の3階の一番奥に神戸いのちの電話の事務局と相談スペースがありました。私の中で神戸いのちの電話と聞くとお二人の顔を思い出します。お一人目は相談員の一人でもあり、西神戸YMCAのランチ委員をされていた広瀬卓蔵さんです。一見強面のお顔ではありましたが笑顔が素敵でいつも優しい眼差しでボランティアの若い学生たちに声をかけていただいていた。ボランティアを招いての交流会では「残さんと全部食べえ」と学生たちに率先して勧め、食べ物を大切にすることをしっかりと伝えられている姿が今でも忘れられません。私は説明が下手でよく「キミの説明じゃわからん!首じゃ!」と愛情あるお叱りを受けて指導いただいたことが何度もありました。「若い人を応援するんじゃ!」という力強いお言葉は私の子どもと若者を支援する原点となりました。残念ながら25年前の阪神・淡路大震災にて神さまの下に召されましたが、広瀬さんと出会った若者たちの心の中にその志は今も脈々と生き続けています。

もうお一人の方は、当時の事務局長であった荒木潔さんです。いつも満面の笑みで若い私を励ましてくださいました。「上杉くん、この前の休みの日見たよ。彼女と楽しそうに歩いていたなあ。」と結婚前の私と連れ合い(同じ施設内の保育園の保育士でした)とのデート現場をさりげなく目撃しながらも誰にも話さないで胸の内にしまっていたこともありました。震災の後、東灘の自宅より徒歩で長田まで来られ、書類棚等が倒れて散乱している事務局を一人で黙々と片づけられていた姿も覚えています。当初は荒木さんの置かれている立場を知らず明るく元気でユーモアのある楽しい方だという一面しか知らず、デートを目撃された日も裁判所の帰り道だったことを後で知りました。苦しい立場の中でも前向きに明るさを失わず生きておられる姿は児童養護施設の責任者となった現在の私の目標とする姿でもあります。

若い日の出会いは心の中に強く、大きく残ります。神さまの下に召されたお二人は今の時代をどの様にご覧になっているのでしょうか。

話は変わりますが今年の3月に10歳から14歳の死因の1位が自殺であるという衝撃的なニュースを目にしました。この国では毎年3万人を超える自殺者がようやく2万人台に下がってきた矢先の報道です。また、経済格差が広がる中で貧困家庭の課題、家族が解体され孤独に生きる方がこの国では年々増えています。その様な意味では神戸いのちの電話の役割はネット社会となった現代においても生身の声を聴き、やり取りができる大切な働きかと思えます。24時間、365日対応できるメールやLINEなどのSNSを使うことの方が今日のかもかもしれません。しかし、対面までとはいかないですが、会話を通して相手の話に無心に耳を傾ける支援は今後も続いていくべきかと思えます。簡単にネットで他者とつながり、会いに行き、事件に巻き込まれる若者の数とその低年齢化が進んでいる現状、健全な大人による電話相談で救われるいのちがたくさんあります。心の飢えと渇きを求める子どもと若者が必ずいます。私の勤めております神戸真生塾は130年前より社会的課題に寄り添ってまいりました。しかし、明治時代のような貧困家庭、戦災孤児もいなくなり、社会が良くなって、児童虐待等がなくなれば施設の役割もおのずと無くなるはずのものでした。神戸いのちの電話の役割も世の中が良くなり、人の悩みが無くなれば、役割を終えるべき働きかと思えます。しかし、まだまだこの国では課題が無くならない現状にあります。特に、今年に入り新型コロナウイルスの感染が拡大し、日常生活が目に見えないモノへの不安と他者の行動に対する差別や偏見を生み、感染症以上に人間の心を蝕んでいる状況もあります。

私は昨年、6月より監事の任を仰せつかり、若輩者ではありますが先達の方々の様に前を向いてこの今日的な課題に向き合っていく神戸いのちの電話のボランティアの皆様ほんの少しでもお手伝いできればと願います。よろしくお願います。

神戸いのちの電話 相談電話 ☎078-371-4343

平日 8:30~20:30
土曜、第2・3・4金曜 8:30~翌日8:30 (祝日のとき 8:30~16:00/20:30~翌日8:30)
日曜、祝日 8:30~16:00

フリーダイヤル「自殺予防 いのちの電話」 ☎0120-783-556

毎月10日 8:00~翌日8:00 (24時間・無料)

海の幸

高嶋酒類食品株式会社

碍子等電気絶縁物 及び
モールド・トランス等の卸売

〒658-0044
神戸市東灘区御影塚町3丁目9番18号
東光碍子株式会社
取締役社長 濱 浩一

オリジナルせんべいをお作り致します。
記念品・贈答品等に最適です。お気軽にご相談ください。



神戸名産 死せんべい 死まんじゅうの元祖
創業明治十六年
亀井堂総本店
神戸・元町
TEL(078)351-0001
www.kameido.co.jp

みつかる。つながる。よくなっていく。

公益財団法人
神戸YMCA

〒650-0001 神戸市中央区加納町2-7-11
電話 078-241-7201(代表) FAX 078-241-7479
<http://www.kobeymca.org>

安全運転・快適な車内空間を
ご提供いたします!
夜間・早朝も対応します(事前予約要)
介護タクシー

ますらお
丈夫かい

山本 常雄
予約電話 **090-3943-0110**

60年の信頼と実績

大阪ガスサービスショップくらしプラス
株式会社ライフライン

台所・お風呂(水廻り)のリフォームから
手すり・バリアフリー工事等の介護リフォームまで
ライフラインにお任せ下さい!
住まいの快適さを環境に適した提案で実現いたします。

神戸市東灘区住吉南町3丁目2番23号
☎0120-26-4919
Tel.078-845-2171



ミラブル
ウォーターファインミスト

小倉サンダイン株式会社



高級奈良漬

甲南漬

木村 歯科

〒651-0087 神戸市中央区御幸通8丁目1-6
神戸国際会館13F
☎078-251-1823



駅弁は、日本の心

淡路屋

弁当のご予約・配達承ります。
☎078-431-1682



甲南女子大学

KONAN WOMEN'S UNIVERSITY

〒658-0001 神戸市東灘区森北町6-2-23
TEL 078-413-3130
<https://www.konan-wu.ac.jp>

キリスト教精神に基づき、誠心・誠意・ご奉仕します。
介護保険の申請代行、ケア・プランの作成、成年後見など
福祉でお困りのこと、まずお電話下さい。

ベテルおおた介護保険事務所 ベテルおおた社会福祉士事務所

社会福祉士・主任ケアマネージャー 大田 厚三郎
(日本基督教団神戸栄光教会会員・元西宮市役所職員)

〒655-0895 神戸市垂水区坂上1丁目2-19-103
携帯 090-9112-6357 FAX 078-755-5261

短期療法を学ぶ会神戸

ブリーフセラピー(短期療法)は、問題に直接さわる
ことなく、症状が出ている方と会わずとも、問題解
決が可能です。

様々な援助方法に適用でき、精神医療、保健福祉、
学校教育、ビジネス、組織マネジメントなど幅広い
領域・分野で用いられ、効果をあげています。

Mail : nfbt.kobe@gmail.com
<https://nfbtkobe.jimdo.com/>



村田建設株式会社

〒653-0825 神戸市長田区池田新町11-17
TEL(078)641-0231
<http://www.murata-kk.com/>

表紙イラストの作者紹介

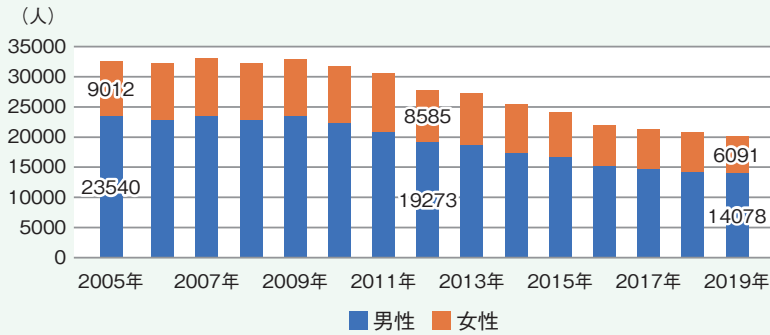
いなばなおこ (マトリョーシカ作家・イラストレーター)
1982年8月 群馬県高崎市生まれ
同志社女子大学現代社会学部卒業
マトリョーシカは、主に個展やグループ展で作品を
発表しています。
イラストは主に群馬の四方温泉・四方たむらで案内
図やポストカードなどを手掛けています。

ブログ <http://inaba-naoko.jugem.jp/>
Instagram [naokoinaba](https://www.instagram.com/naokoinaba)

私たちは
神戸いのちの電話を
応援しています

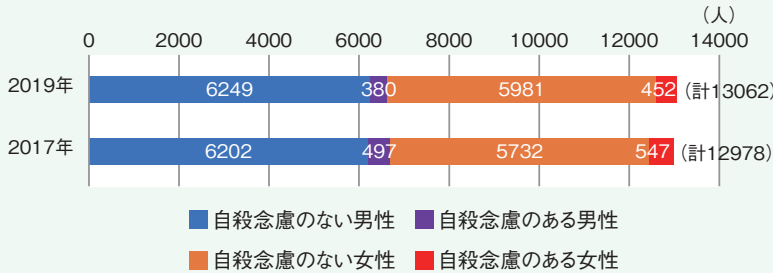
「神戸いのちの電話」統計報告

① 全国の自殺者の推移 (警察庁発表)



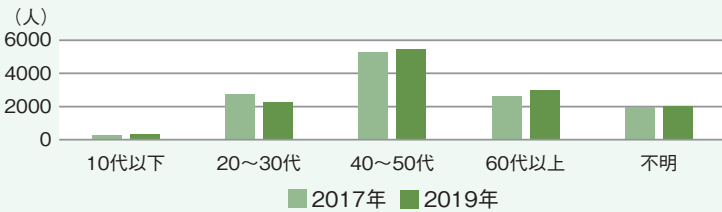
①のグラフは全国の自殺者数の推移です。1998年に3万人を超えてから2011年まで3万人台が続きました。それが2019年には2万人を切る手前まで大きく減少しました。②～④のグラフは、神戸いのちの電話にかかってくる電話に関するもので、2017年と2019年の比較です。②の件数について、2019年の方が若干増えています。内容では男女ほぼ同数、自殺傾向についてもあまり変わりません。このことは③の年齢別、④の内容別に関しても大きな変化は見られません。自殺傾向とは「自殺決行中」、「自殺予告」や「死にたい」、「死ぬしかない」などの「自殺念慮」まで含まれています。

② 神戸いのちの電話相談件数 (男女別)



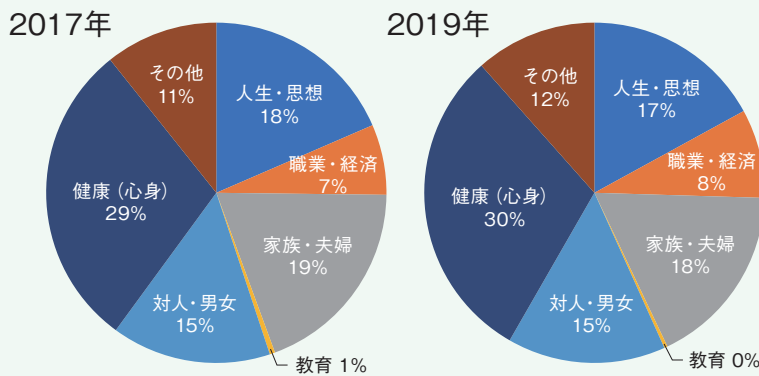
かかってくる電話のほぼ9割が自殺傾向のないものです。しかし自殺傾向がないからと言って軽く見ることはできません。直接自殺につながらなくても心のしんどさや苦しさをじっくり、寄り添って聞いてくれる人がいないということがこの社会の大きな問題ではないでしょうか。みんな忙しい、他人の悩みをゆっくり聞いている暇はない(家族でも)、そういう社会の中で「いのちの電話」の存在意義があるように思います。そして相談件数は電話を受けている時間に比例するようで、2019年に件数が若干増加しているのは、深夜帯を増やすなどしたためと思われます。電話の回線や時間帯を増やせば件数は増えるということです。

③ 神戸いのちの電話相談件数 (年代別)



これらのことから、二つの側面でまとめをします。一つは女性に関して、自殺者数は年を追うごとに減少しているが、男女比はほとんど変わらず、男:女≒2:1です。一方電話相談件数は男女、自殺傾向も含め、ほぼ同数です。この傾向が今後どのように推移するかを分析・検討することで、不確実で、不安な時代を乗り越えるヒントが見つかるかもしれません。もう一つは若者に関して、携帯電話やスマートフォンが普及しているのに、若者からの電話の割合が少ないということが気がかりです。短文や単語を駆使するSNSの活用は進んでも、会話をすることは苦手なようです。若者との情報交換がこれからの時代のもう一つの鍵になるのではないのでしょうか。

④ 神戸いのちの電話相談の内容



(統計小委員会)

編集後記

いま世の中に起こっていること、わたしたちを蝕むこの雰囲気、息苦しい感じ、いのちの電話の使命と相談員それぞれの日々の暮らし、そして相談者に寄り添うことが叶わぬ焦り、いまできることを精一杯、あたまでそうは思っても渦巻く感情。「なぜ」という思いがとめどなく溢れる。(M.A.)

広報誌 神戸いのちの電話
 発行日 2020年6月
 発行 社会福祉法人 神戸いのちの電話
 発行人 理事長 水野 雄二
 編集 神戸いのちの電話広報委員会
 〒650-8691 神戸支店郵便私書箱1103号
 Tel 078-371-4405 Fax 078-371-4355
 E-mail kind4343@viola.ocn.ne.jp
 ホームページ <https://kobe-lifeline.org>